

# カリキュラム

機構施設名： 山口職業能力開発促進センター  
 実施機関名： 株式会社 東京ナレッジプラン

(A) バックオフィス	クラウド・IoT導入	<b>IoT活用によるビジネス展開</b>
-------------	------------	-----------------------

コースのねらい	IoTに関する基本的な知識、技能・技術を習得し、IoTを活用したビジネス展開手法を習得する
---------	---

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間 (H)
	1	IoT (Internet of Things) とビッグデータ	(1) IT, IoTの概要 IT, IoTとは何か、またその違いは何かということについて関連する技術や関連法について特に受注、出荷、物流面での導入事例に基づいて解説する。また、IoT導入の準備として必要な項目、IoT導入における注意すべきリスクなどについても解説することでIT, IoT導入のための基礎を習得する。 (2) IT, IoTの活用について IT, IoTを活用することでどのような効果が上げられるか。また最近のIT, IoT技術にはどのようなものがあるか(例えばRPA)について業務のポイントごとに解説する。 (3) ビッグデータとは ビッグデータとは何か、ビッグデータを活用することで何が可能になったかということについて事例を交えて解説する。 (4) データの収集方法 ビッグデータを収集するための技術の解説と、それらを活用していかにビッグデータを収集するか、その手順について解説する。	2. 0H
2	IoTを活用したビジネス展開	(1) 制約条件 IT, IoTを活用した業務を行っていく上で、どのような制約条件があるかを解説する。特にインターネット技術の利用時におけるリスク回避の問題、情報漏えいへの対策などのきちんと定義しておかなければならない制約条件について解説する。 (2) IT, IoTを活用することで業務がどう変わっていくか IT, IoT技術を活用することで業務がどう変わっていくか実際の導入事例に基づいて解説する。また、自業務へ導入するために必要な手順や導入のための準備事項などについても解説を行う。 (3) クラウド(インターネット回線)利用時のリスク クラウドは最近はやりの技術であるが、それを活用するに当たり、どのようなリスクが考えられるかについて、実際に起こったインシデントを参考にして、それを回避するためにはどうするかまでを解説する。	2. 0H	
3	演習	(1) 演習 自業務の中でIoT活用が可能な物を洗い出し、それを展開することにより業務がどう変わるかを検討する。また、それらにはどのようなリスクが潜んでいるかを検証し、回避策も併せて検討する。	2. 0H	

カリキュラム作成のポイント	ビジネス展開の中でIoTの活用は不可欠なものになってきています。ただ、まだ言葉だけが先行し、実際にはどう取り組んでいくかはっきりしていないという現状があります。こうした背景の元で、実際にIoTを導入していくために必要な技術や潜んでいるリスク、企業として取り組むべき準備作業などを事例を交えて解説することで知識を深めていただき、実際に自社にIoT技術を導入やビッグデータの活用を行うための基礎を習得していただくことを目的としています。
---------------	--

講師から一言	IoT技術の発展に伴い、各種の機器がインターネットに繋がるようになり、それにより収集されるビッグデータを如何に活用しビジネスに活かしていくための事例やツールを紹介します。
--------	---